

第116期 報告書

[平成27年4月1日～平成28年3月31日]

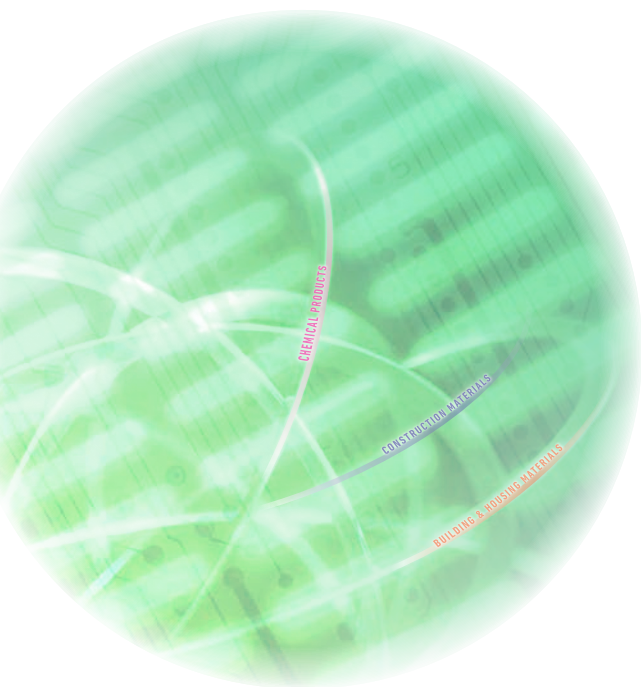
CHEMICAL PRODUCTS

CONSTRUCTION MATERIALS

BUILDING & HOUSING MATERIALS

アイカ工業株式会社

証券コード 4206



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結株主資本等変動計算書／連結キャッシュ・フロー計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書	
株主資本等変動計算書	
■ 企業活動のご案内	9
■ 会社の概要	12
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社グループ第116期（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）の営業の概況をご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日本銀行による経済・金融政策の効果を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の減速や為替・株安の変動リスクなど懸念材料もあり、先行き不透明な状況となっております。一方、アジア・オセアニア経済は、各国政府の公共投資拡大や金融緩和等の政策による下支えがあったものの、中国、インドネシア等において緩やかな景気減速が続きました。

国内建築市場におきましては、政府による住宅取得支援策等により住宅着工は回復しましたが、非住宅関連は、店舗・公共物件を中心に着工面積の減少が見られ、本格的な回復には至っておりません。

このような経営環境の下、当社グループは、医療・介護施設をはじめとする非住宅市場およびリフォームなどの成長分野に対する営業活動の強化、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社とのシナジーの追求、アジア地域におけるメラミン化粧板の拡販、機能材料事業の強化などに取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は150,061百万円（前連結会計年度比4.3%増）、営業利益は16,184百万円（前連結会計年度比6.6%増）、経常利益は16,352百万円（前連結会計年度比2.9%増）となりました。なお、特別利益の減少（前年はプリント配線板事業売却による事業譲渡益発生）により親会社株主に帰属する当期純利益は9,962百万円（前連結会計年度比1.7%減）となりました。

今後の景気動向につきましては、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続することが期待されますが、海外経済の減速や為替・株安の変動リスクなど懸念材料もあり、景気の下振れリスクが残っています。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、非住宅市場への取り組み強化、補修・補強・改修市場などの成長市場の取り込み、海外事業と機能材料事業の強化による更なる成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発、ならびにアイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社および新規連結に加わったアイカSDKフェノール株式会社、アイカテック建材株式会社とのシナジーの発現を図ってまいります。

当社グループは、コンプライアンス（法令遵守）とCSR（企業の社会的責任）を重点方針に掲げ、社会から一層信頼される企業を目指し邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成28年6月



代表取締役社長

小野 勇治

化成品セグメント

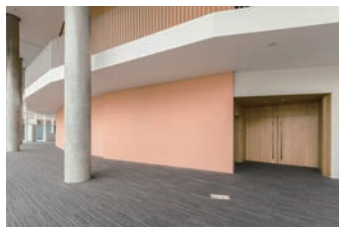
接着剤系商品は、国内では、木工用汎用接着剤が堅調に推移したものの合板用接着剤および集成材用接着剤が苦戦し横ばいで推移しました。海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、橋梁などの補修・補強材「ダイナミックレジン」や水系硬質ウレタン樹脂系塗材「ピューール」が補修・補強・改修市場の需要を取り込んだものの、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」が前年を下回り、全体としては横ばいで推移しました。

非建築分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、電子材料が順調に推移し売上を伸ばすことができましたが、有機微粒子や太陽電池向け接着剤が低迷した結果、前年を下回りました。

なお、昭和電工株式会社のフェノール樹脂事業を譲り受けたアイカSDKフェノール株式会社については、9月1日より連結業績に組み入れております。

このような結果、売上高は77,269百万円(前連結会計年度比2.9%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は5,417百万円(前連結会計年度比15.9%増)となりました。



外装・内装仕上塗材
ジョリパット

物件名：長野市第一庁舎・長野市芸術館
設計：株式会社横総合計画事務所

補修・補強材
DYNAMIC RESIN
(ダイナミックレジン)



建築材セグメント

国内市場においては、アイテムを大幅拡充し営業強化を進めている粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」を大きく伸ばすことができましたが、主力市場である非住宅建設需要が振るわず汎用的な化粧板や化粧ボードが低調に推移し、売上は伸び悩みました。一方、海外市場においては、インドやインドネシアを中心に売上を伸ばし、全体としては前年を上回りました。

なお、三菱マテリアル建材株式会社の建材事業を譲り受けたアイカテック建材株式会社については、10月1日より連結業績に組み入れております。

このような結果、売上高は36,451百万円(前連結会計年度比13.6%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は6,843百万円(前連結会計年度比2.3%増)となりました。



デザイナーズ・ラミネート化粧板

ONDER(プラスワンダー)

物件名：新富町総合交流センター
設計：株式会社佐藤総合計画



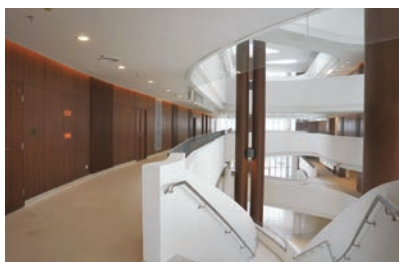
粘着剤付化粧フィルム
Atyno(オルティノ)

物件名：岡谷市民病院
設計：株式会社日本設計・サイト設計企業体
伊藤元晴 陸川 悠 数藤良太郎 矢崎和夫

住器建材セグメント

不燃化粧材「セラル」は、リフォーム・リノベーション市場においては売上を伸ばすことができましたが、新築住宅向けキッチンパネル用途や、医療・介護施設、教育施設向け壁用途は苦戦し、横ばいで推移しました。ポストフォーム・カウンター商品は、戸建住宅や集合住宅向けの「Rスタイルカウンター」の売上を伸ばすことができましたが、医療・介護施設、教育施設の需要が振るわず低調に推移しました。インテリア建材は医療・介護施設向け機能引戸「U.D.(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」が苦戦し前年を下回りました。

このような結果、売上高は36,339百万円(前連結会計年度比0.9%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は5,995百万円(前連結会計年度比1.3%増)となりました。



不燃化粧材
CERARL (セラル)

物件名：上海科学技術大学



ポストフォームカウンター バリューエッジカウンター

物件名：中央大学多摩キャンパス

「ジョリパット」発売 40周年

—カラーラインアップを一新—

外装・内装仕上塗材「ジョリパット」は、1975年11月の発売から、40周年を迎えました。

「ジョリパット」は、180色以上の『カラー』、コテ・ローラー・吹付けなどの『施工方法』、玉石・寒水石などの『骨材』、これらの組み合わせで多彩な表現が可能です。発売以来、住宅をはじめ、商業施設、医療介護施設、宿泊施設、教育施設、オフィスなど様々な物件の壁や天井を彩っています。

今回、「ジョリパット」のカラーラインアップを一新し、欲しい色がすぐに見つかる新しいカラーツール「カラーテーブルクロマトーン」を発売しました。

建築の内外装に選びやすいウォーム系のグレーを充実させた「ニュートラルカラー」、グレイッシュな色合いで自然色と相性の良い「ミスティカラー」、太陽に映える明るく鮮やかな色合いの「サニーカラー」、日本を表現する色合いの「和の伝統色」で構成し、テーブルに色を広げてカラーコーディネートできるような配列としました。欲しい色がすぐに見つかり、より選びやすくなりました。

「ジョリパット」は、この40年の間、新色、新パターンを追加するだけでなく「低汚染性」、「可とう性」、「不燃性」など機能の向上、またジョリパットシルキーパレットなど健康・環境に配慮した商品を充実させるなど進化を続けています。

JOLYPATE

COLOR TABLE - CHROMATONE -

ジョリパット
カラーテーブル - クロマトーン -

40TH
ANNIVERSARY
JOLYPATE

連結決算

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	103,028	96,670
現金および預金	37,449	35,220
受取手形および売掛金	49,333	45,692
たな卸資産	12,124	11,508
繰延税金資産	864	867
その他	3,498	3,655
貸倒引当金	△241	△273
固定資産	50,405	50,346
有形固定資産	30,472	28,318
無形固定資産	4,965	6,621
投資その他の資産	14,968	15,406
投資有価証券	13,323	13,920
繰延税金資産	238	244
その他	1,440	1,241
貸倒引当金	△34	-
資産合計	153,434	147,017

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成27年4月1日～ 平成28年3月31日)	前連結会計年度 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)
売上高	150,061	143,843
売上原価	108,067	104,992
売上総利益	41,993	38,850
販売費および一般管理費	25,809	23,669
営業利益	16,184	15,181
営業外収益	1,281	1,289
営業外費用	1,113	585
経常利益	16,352	15,885
特別利益	-	1,381
税金等調整前当期純利益	16,352	17,266
法人税、住民税および事業税	5,501	6,157
法人税等調整額	△20	173
当期純利益	10,871	10,935
非支配株主に帰属する当期純利益	908	798
親会社株主に帰属する当期純利益	9,962	10,137

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	34,644	34,655
支払手形および買掛金	20,850	18,400
電子記録債務	3,982	4,674
短期借入金	513	1,429
未払法人税等	2,394	2,566
賞与引当金	1,693	1,469
その他	5,210	6,115
固定負債	6,289	5,134
長期借入金	1,043	1,426
繰延税金負債	2,101	2,280
退職給付に係る負債	1,147	684
その他	1,997	743
負債合計	40,933	39,790
純資産の部		
株主資本	101,776	94,659
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,271	13,270
利益剰余金	80,618	73,527
自己株式	△2,005	△2,030
その他の包括利益累計額	6,218	8,523
その他有価証券評価差額金	3,027	3,511
繰延ヘッジ損益	△4	△8
為替換算調整勘定	3,092	4,845
退職給付に係る調整累計額	103	174
新株予約権	36	67
非支配株主持分	4,469	3,976
純資産合計	112,501	107,226
負債純資産合計	153,434	147,017

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
平成27年4月1日残高	9,891	13,270	73,527	△2,030	94,659	3,511	△8	4,845	174	8,523	67	3,976	107,226
連結会計年度中の 変動額													
剰余金の配当			△2,871		△2,871								△2,871
親会社株主に帰属 する当期純利益			9,962		9,962								9,962
自己株式の取得				△1	△1								△1
自己株式の交付 (新株予約権の行使)		3		27	30								30
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動額		△2			△2								△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	△484	4	△1,753	△71	△2,304	△30	493	△1,842
連結会計年度中の 変動額合計	—	0	7,090	25	7,116	△484	4	△1,753	△71	△2,304	△30	493	5,274
平成28年3月31日残高	9,891	13,271	80,618	△2,005	101,776	3,027	△4	3,092	103	6,218	36	4,469	112,501

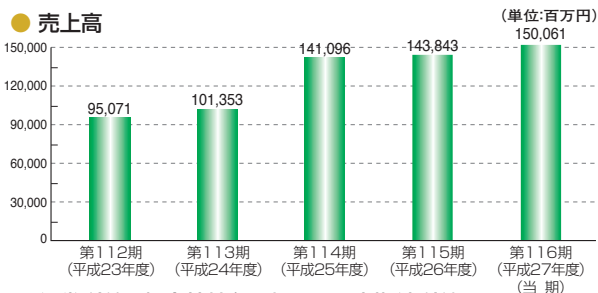
◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

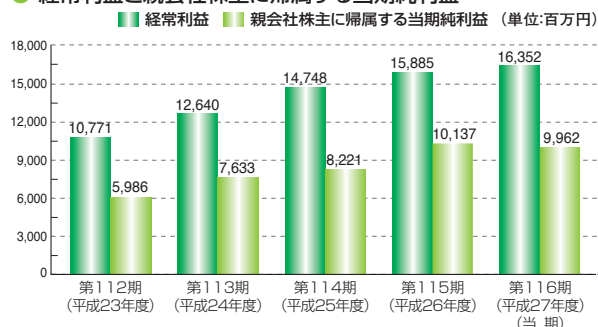
科目	当連結会計年度 (平成27年4月1日～ 平成28年3月31日)	前連結会計年度 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,612	13,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,025	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,849	△1,912
現金および現金同等物に係る換算差額	△508	423
現金および現金同等物の増減額	2,228	11,448
現金および現金同等物の期首残高	35,220	23,772
現金および現金同等物の期末残高	37,449	35,220

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 売上高



● 経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益



単独決算

●貸借対照表

科 目	第116期	第115期
	(平成28年3月31日現在)	(平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	72,772	70,473
現金および預金	25,031	25,655
受取手形および売掛金	37,218	36,652
たな卸資産	5,171	4,954
繰延税金資産	651	691
その他	4,708	2,519
貸倒引当金	△8	-
固定資産	50,607	49,244
有形固定資産	12,916	14,112
無形固定資産	367	401
投資その他の資産	37,323	34,731
投資有価証券	12,389	13,111
関係会社株式	23,214	20,120
その他	1,735	1,499
貸倒引当金	△15	-
資産合計	123,380	119,718

●損益計算書

科 目	第116期	第115期
	(平成27年4月1日～平成28年3月31日)	(平成26年4月1日～平成27年3月31日)
売上高	97,304	98,053
売上原価	69,838	70,722
売上総利益	27,465	27,330
販売費および一般管理費	16,324	16,137
営業利益	11,140	11,193
営業外収益	1,381	1,381
営業外費用	528	274
経常利益	11,993	12,299
特別利益	-	1,635
税引前当期純利益	11,993	13,935
法人税、住民税および事業税	3,380	4,242
法人税等調整額	△16	161
当期純利益	8,629	9,532

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	第116期	第115期
	(平成28年3月31日現在)	(平成27年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	24,805	25,975
支払手形および買掛金	14,150	14,244
電子記録債務	5,306	4,674
未払法人税等	1,694	2,033
賞与引当金	1,230	1,176
その他	2,424	3,846
固定負債	1,575	2,017
負債合計	26,380	27,992
純資産の部		
株主資本	93,943	88,156
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,282	13,278
利益剰余金	72,774	67,016
自己株式	△2,005	△2,030
評価・換算差額等	3,020	3,501
その他有価証券評価差額金	3,024	3,510
繰延ヘッジ損益	△4	△8
新株予約権	36	67
純資産合計	97,000	91,725
負債純資産合計	123,380	119,718

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)							
平成27年4月1日残高	9,891	13,277	1	1,622	65,393	△2,030	88,156	3,510	△8	3,501	67	91,725
事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△2,871		△2,871					△2,871
当期純利益					8,629		8,629					8,629
自己株式の取得						△1	△1					△1
自己株式の交付 (新株予約権の行使)			3			27	30					30
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)							-	△485	4	△481	△30	△512
事業年度中の変動額合計	-	-	3	-	5,757	25	5,786	△485	4	△481	△30	5,274
平成28年3月31日残高	9,891	13,277	4	1,622	71,151	△2,005	93,943	3,024	△4	3,020	36	97,000

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) その他利益剰余金の内訳

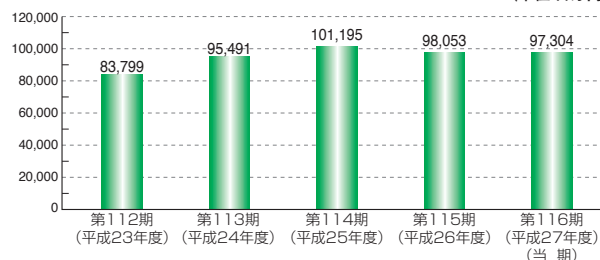
(単位:百万円)

	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成27年4月1日残高	295	16,976	48,122	65,393
事業年度中の変動額				
圧縮積立金の積立	7		△7	-
圧縮積立金の取崩	△12		12	-
剰余金の配当			△2,871	△2,871
当期純利益			8,629	8,629
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)				-
事業年度中の変動額合計	△4	-	5,762	5,757
平成28年3月31日残高	290	16,976	53,884	71,151

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

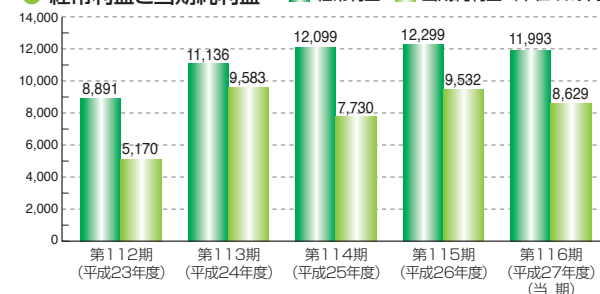
●売上高

(単位:百万円)



●経常利益と当期純利益

■経常利益 ■当期純利益 (単位:百万円)



「名古屋市女性の活躍推進企業認定・表彰制度」優秀賞を受賞

名古屋市は、女性がいきいきと活躍できるような取組をしている企業を認定し、その中で特に優れた取組をしている企業を表彰する「名古屋市女性の活躍推進企業認定・表彰制度」を2009年から行っています。

当社は、2012年から女性目線の商品開発プロジェクトを、2013年から女性活躍推進プロジェクトを設置し、女性の力を経営に活かす取組や、環境整備に注力しています。

これらの活動実績を社外に評価してもらい、社員のモチベーションアップや更なる意識改革を推進するため、今回はじめて、「名古屋市女性の活躍推進企業認定・表彰制度」に応募し、優秀賞を受賞しました。

女性活躍推進プロジェクトの設置や女性活躍のためのアンケートを実施し、男性管理職向け研修に活かすなど、問題点を分析・数値化し取組を進めていること、ま

た、トップ自らが、女性の力をより一層活用するための女性目線の商品開発プロジェクトを指示するなど、社を上げて取り組んでいることなどが評価されたことによります。

当社は、今後も、名古屋市女性の活躍推進企業優秀賞の名にふさわしい企業であり続けるため、また、人材の多様性を推進することで企業の競争力を高め、企業価値を向上させていくために、女性活躍推進を経営戦略と捉え、推進していきます。



「メラミンが変わる、リフォームが変わる」「メラタック」新発売

メラミン化粧板は、耐久性・耐水性・耐光性が高く、家具・扉・パーティション等の表面材として汎用的に使われている建築材料です。当社は、国内のメラミン化粧板シェアトップを誇り、業界最多の700柄を超えるラインアップを揃えています。しかしながら、メラミン化粧板の加工や施工には専用の工具や接着剤が必要で、扱える人や加工場所が専門業者、建具・木工家具製造工場に限られ、店舗や住宅のリフォーム現場で取り扱うことは難しい材料とされてきました。

そこで当社は、コア技術であるメラミン化粧板の積層技術と加工技術を用い、簡単にカットでき、柔軟性があり、粘着剤付きで施工が容易な新商品「メラタック」を開発しました。

「メラタック」は、意匠性や物性に優れるメラミン化粧板をフィルムのように扱いやすくし、用途、施工業者を広げることでメラミン化粧板事業の拡大を図ることができる新商品です。



柄とエンボスが同調し、リアルな木肌感を表現「セルサス プレミアムテクスチャー」新発売

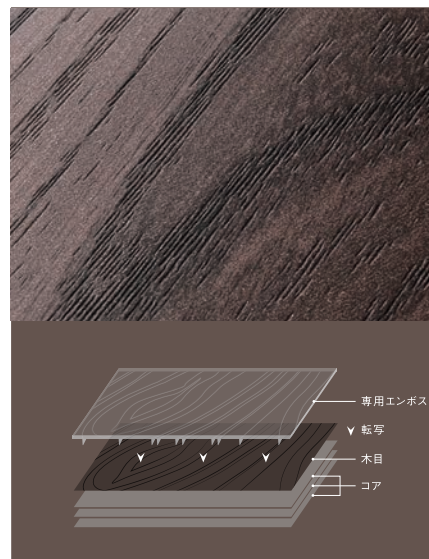
メラミン化粧板は、樹脂に含浸させた印刷紙とコア紙を何枚も重ね、高温高压で長時間プレスすることで一体化させて製造します。

プレスする際に、様々な凹凸や艶の金属板(当て板)を表面に当てることで、その金属板の凹凸(エンボス)や艶が転写されます。木目には木目のエンボスがついた金属板を、レザー調にはレザーのエンボスがついた金属板を使用するといった具合に、様々な金属板を用意することで、メラミン化粧板の意匠感を高めています。

しかし、今までは様々な柄で同じ金属板を使用するため、柄とエンボスが一致していないことが、天然木と大きな違いの一つでした。

そこで当社は、製造工程や仕様を見直すことで、木目の柄と凹凸感を一致させた「セルサス プレミアムテクスチャー」を開発しました。「セルサス プレミアムテクスチャー」は、まるで天然木のような、リアルな木肌感を実現しています。

CEL SUS
-PREMIUM TEXTURE-
セルサス プレミアムテクスチャー



塗料用ウレタン有機微粒子「グランパール」新発売

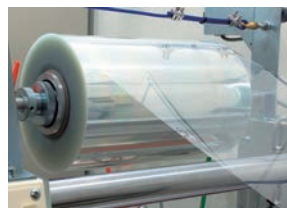
当社は、非建築分野への取り組みとして機能材料事業に注力しており、ポリ(メタ)アクリル酸エステル系を中心とするポリマー微粒子「ガンツパール」を発売しています。

ガンツパールは無機粒子に比べ低比重で、透明性が高く、樹脂へのなじみ、分散性に優れているなどの特性を有しており、化粧品のさらさら感やのび性の付与、塗料への艶消し性付与など、様々な用途へ販売しています。

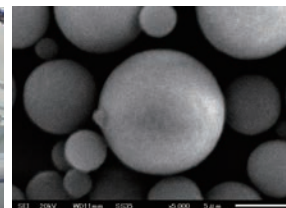
そしてこのたび、新たにウレタン樹脂系微粒子を「グランパールシリーズ」としてガンツパールのラインアップに加え、更なる提案力強化を図りました。ウレタン微粒子は、アクリル微粒子に比べ、柔軟性に優れ、艶消し性と共に柔らかな風合いを塗料表面に付与することが

きる上に、優れた耐溶剤性を有します。そのため、硬く冷たいプラスチック等の基材に、しっとり・さらさらとした高級感のある手触りを付与するソフトフィール塗料の原材料として最適です。

また、柔らかいとされるナイロン微粒子やシリコーン微粒子に比べ、コストメリットに優れており、性能とコストパフォーマンスを両立させることが可能になりました。



採用例:光拡散フィルムの表面ブロッキング防止塗料用



GU-0700P画像

創立80周年(第117期)の配当予想に関するお知らせ

当社は、平成28年10月に創立80周年を迎えます。

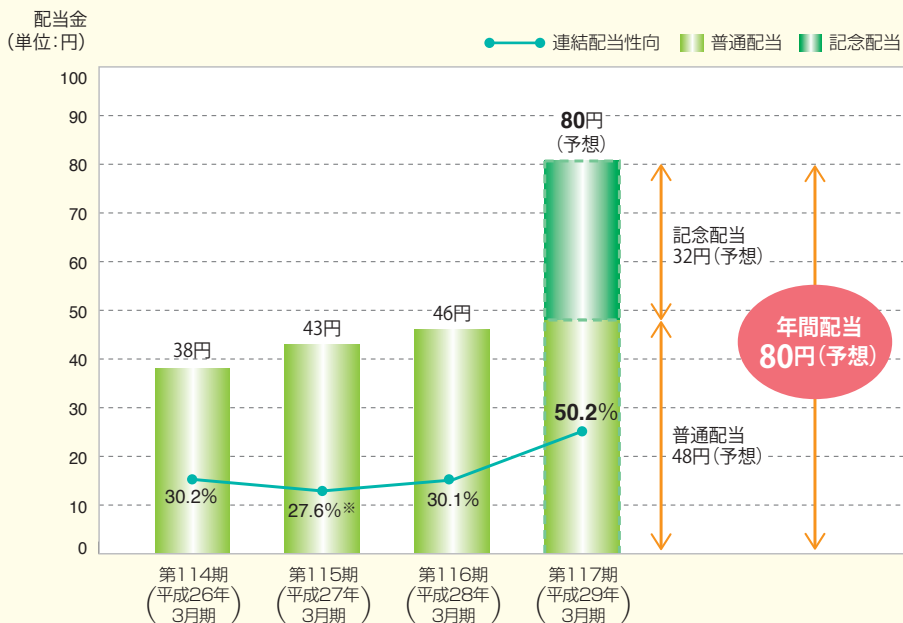
これを受けまして、平素よりご支援を賜っております株主の皆様にご感謝の意を表すため、創立80周年に応答する第117期(平成29年3月期)の配当につきましては、連結配当性向50%以上を目安とし、年間配当金を1株あたり80円(第116期から34円の増配)とすることを予定しております。



AICA 1936

Eighty Years Young

(ご参考)当社の直近3か年の連結配当性向



※第115期において親会社株主に帰属する当期純利益から事業譲渡益を除外して算出した場合の連結配当性向は30.2%となります。

会社の概要

〔平成28年6月23日現在〕

プロフィール

- 社 名 アイカ工業株式会社
- 本 社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電 話 052(409)8000(代表)
- 設 立 昭和11年10月20日
- 資 本 金 98億9,170万円
- 事 業 所

〔生産拠点〕 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県)

〔開発拠点〕 R&Dセンター甚目寺研究所(愛知県)

R&Dセンター丹波研究所(兵庫県)

R&Dセンター茨城研究室(茨城県)

〔営業拠点〕 札幌支店 仙台支店 盛岡支店

東京支社 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

金沢支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店 岡山営業所

四国支店 福岡支店 鹿児島支店

■主要製品

〔化成品セグメント〕

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

〔建装材セグメント〕

メラミン化粧板、化粧合板

〔住器建材セグメント〕

室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

■連結子会社

- 〔会社名〕 アイカインテリア工業株式会社(愛知県)
 アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)
 アイカテック建材株式会社(東京都)
 アイカSDKフェノール株式会社(群馬県)
 西東京ケミックス株式会社(東京都)
 アイカインドネシア社(インドネシア)
 テクノウッド社(インドネシア)
 昆山愛克樹脂有限公司(中国)
 瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)
 愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)
 アイカラミネーツ・インディア社(インド)
 アイカベトナム社(ベトナム)
 アイカ・アジア・パシフィックホールディング社(シンガポール)

取締役・監査役および執行役員

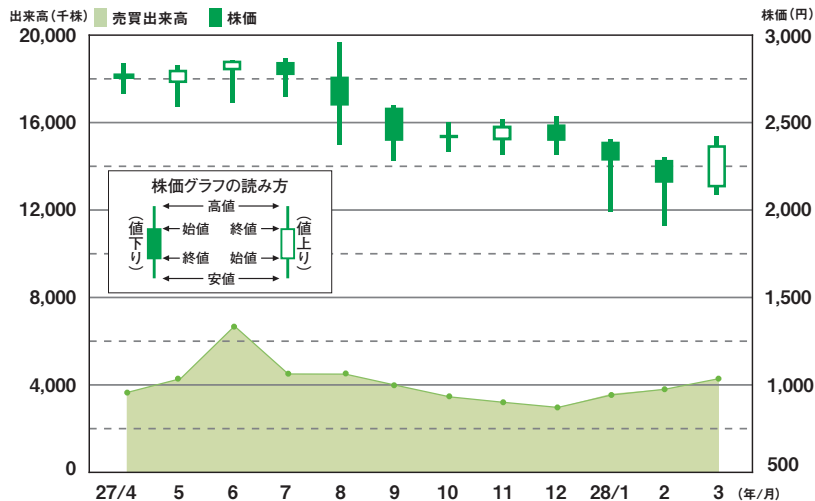
- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 〔代表取締役社長〕 | 小野 勇 治 |
| 〔常務取締役〕 | 百々 聡 |
| 〔常務取締役〕 | 岩瀬 幸 廣 |
| 〔取締役〕 | 大村 信 幸 |
| 〔取締役〕 | 小瀬村 久 |
| 〔取締役〕 | 森 良 二 |
| 〔取締役〕 | 伊 東 善 光 |
| ○〔取締役〕 | 小 倉 健 二 |
| ○〔取締役〕 | 花 村 淑 郁 |
| 〔常勤監査役〕 | 岩 田 照 徳 |
| 〔常勤監査役〕 | 森 永 博 之 |
| ○〔監査役〕 | 松 浦 洋 |
| ○〔監査役〕 | 加 藤 正 和 |
| 〔上席執行役員〕 | 堀 田 益 之 |
| 〔上席執行役員〕 | 岩 塚 祐 二 |
| 〔執行役員〕 | Francis Chan (フランスス チャン) |
| 〔執行役員〕 | Chew Teck Liong (チュー テクリオン) |
| 〔執行役員〕 | 加 藤 義 昭 |
| 〔執行役員〕 | 村 瀬 元 康 |
| 〔執行役員〕 | 石 井 直 美 |
| 〔執行役員〕 | 天 野 利 通 |
| 〔執行役員〕 | 倉 本 寛 直 |
| 〔執行役員〕 | 吉 村 利 康 |

(注)○印は社外取締役、○印は社外監査役であります。

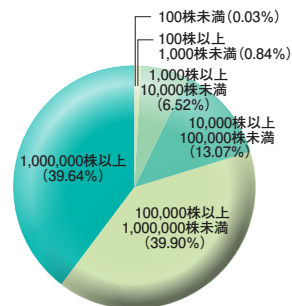
● 発行済株式の総数…67,590,664株

● 株主数…5,277名

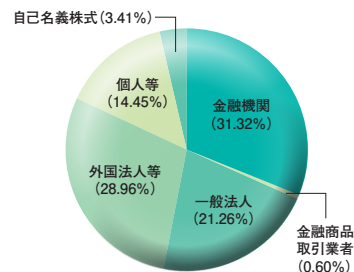
株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



[所有株数別株式分布状況]



[所有者別株式分布状況]

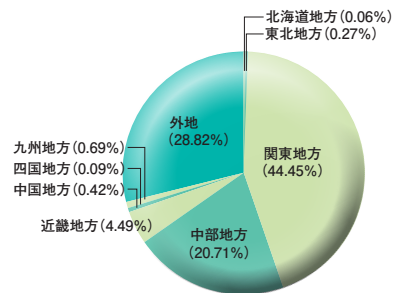


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,046	4.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,780	4.26
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE-HSD00	2,036	3.12
アイカ工業取引先持株会	1,969	3.02
アイカ工業株式保有会	1,605	2.46
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,548	2.37
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	1,511	2.32
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,364	2.09
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99

※当社は、自己株式2,303千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
持株比率は、自己株式2,303千株を控除して計算しております。

[地域別株式分布状況]



株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定※ 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

AICA

カガクとデザインで面白いこと



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO₂は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、環境省で認定された排出権(宮城県米川生産森林組合有林間伐促進森林吸収プロジェクト)によりカーボンオフセットされております。

